

総合文化研究科国際社会科学専攻／「人間の安全保障」プログラム合併 2013 年度集中講義
「国際社会科学特別講義Ⅰ」(31M230-1112W, 31D230-1112W)
「人間の安全保障演習Ⅷ」(31M290-0264W, 31D290-0264W)

国際社会科学専攻客員教授 モハメド・シャヘド・ハッサン

講義題目 地域固有の知的体系 (Indigenous Knowledge System)

講義の目的

急速な近代化によって地域に固有な民衆の知恵は危機に晒されている。この講義では、様々な角度から地域に固有な知識の研究を行いその重要性を把握することを目的とする。とくに、それが環境や自然災害にどのように適用できるかという点に注目していきたい。

講義の概要

講義では、地域固有の知識の定義、類別、方法論、情報の記録などを扱う。また、主要な環境概念、社会変数も検討する。(詳細は別添の英文案内参照)

講義スケジュール

3月11日(火) 3限、4限
3月12日(水) 3限、4限
3月13日(木) 3限、4限
3月14日(金) 3限、4限
3月17日(月) 3限、4限
3月18日(火) 3限、4限
3月19日(水) 6限(公開セミナー)

講義形式 レクチャー及び討論。

参考文献・資料は講義中に紹介する。

使用言語 英語

教室 2号館3階303室

留意事項

初回(3月11日3限)に必ず出席すること。出席できない場合は、事前に丸山真人(客員教授世話人)まで連絡すること。

(内線 46466 またはメールで maruyama@waka.c.u-tokyo.ac.jp まで)